

第13回 熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会

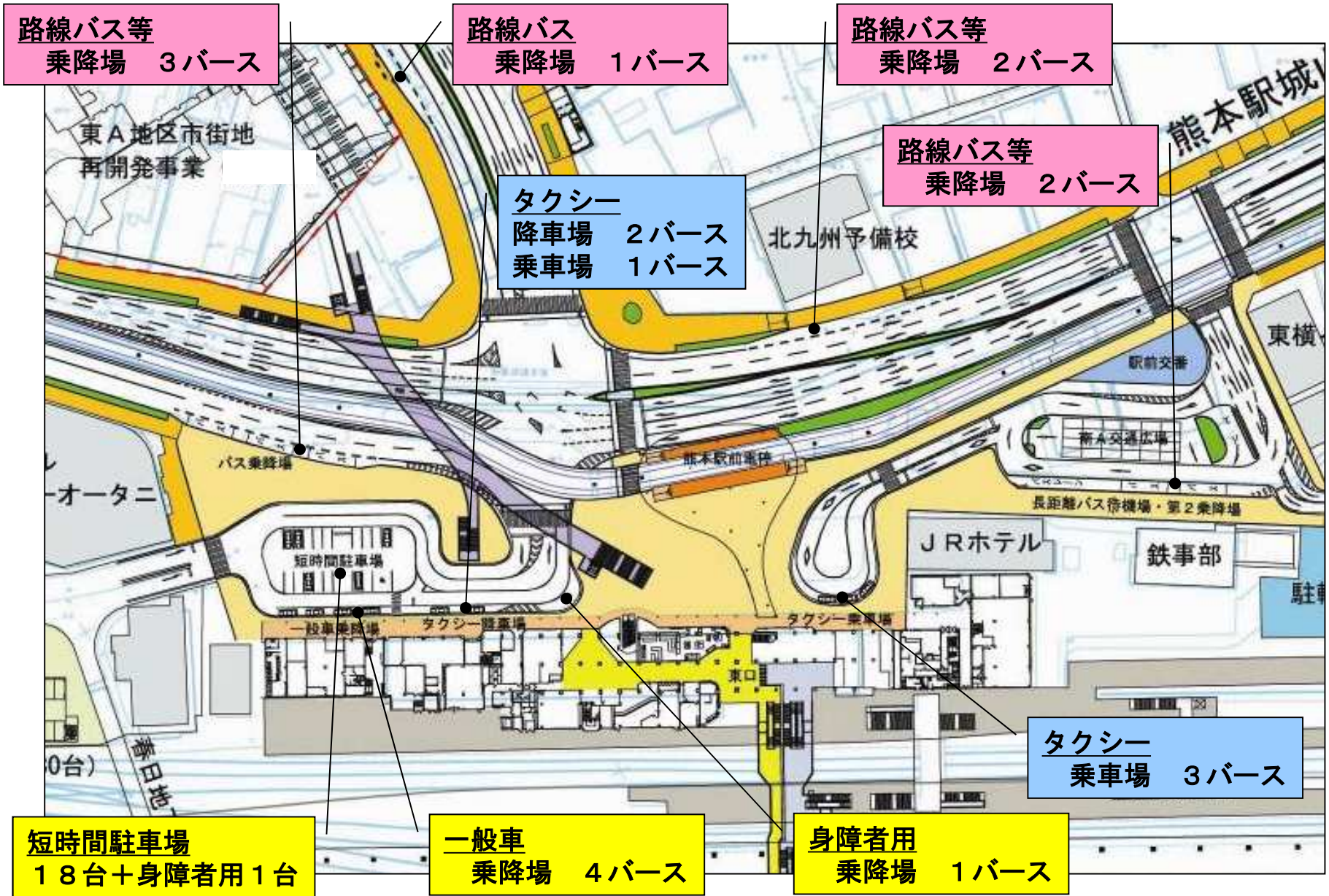
(3) 熊本駅東口駅前広場(完成形)の整備計画について

平成25年11月12日(火)

～ 次 第 ～

1. 熊本駅東口駅前広場の現況
2. 現況の課題
3. 完成形駅前広場（現在の都市計画決定区域）
4. 完成形整備に向けた検討条件
5. 熊本駅東口（完成形）駅前広場計画（案）
6. 駅前広場への市電乗り入れの課題
7. 今後のスケジュール

1. 熊本駅東口駅前広場の現況



路線バス等
乗降場 3バース

路線バス
乗降場 1バース

路線バス等
乗降場 2バース

路線バス等
乗降場 2バース

タクシー
降車場 2バース
乗車場 1バース

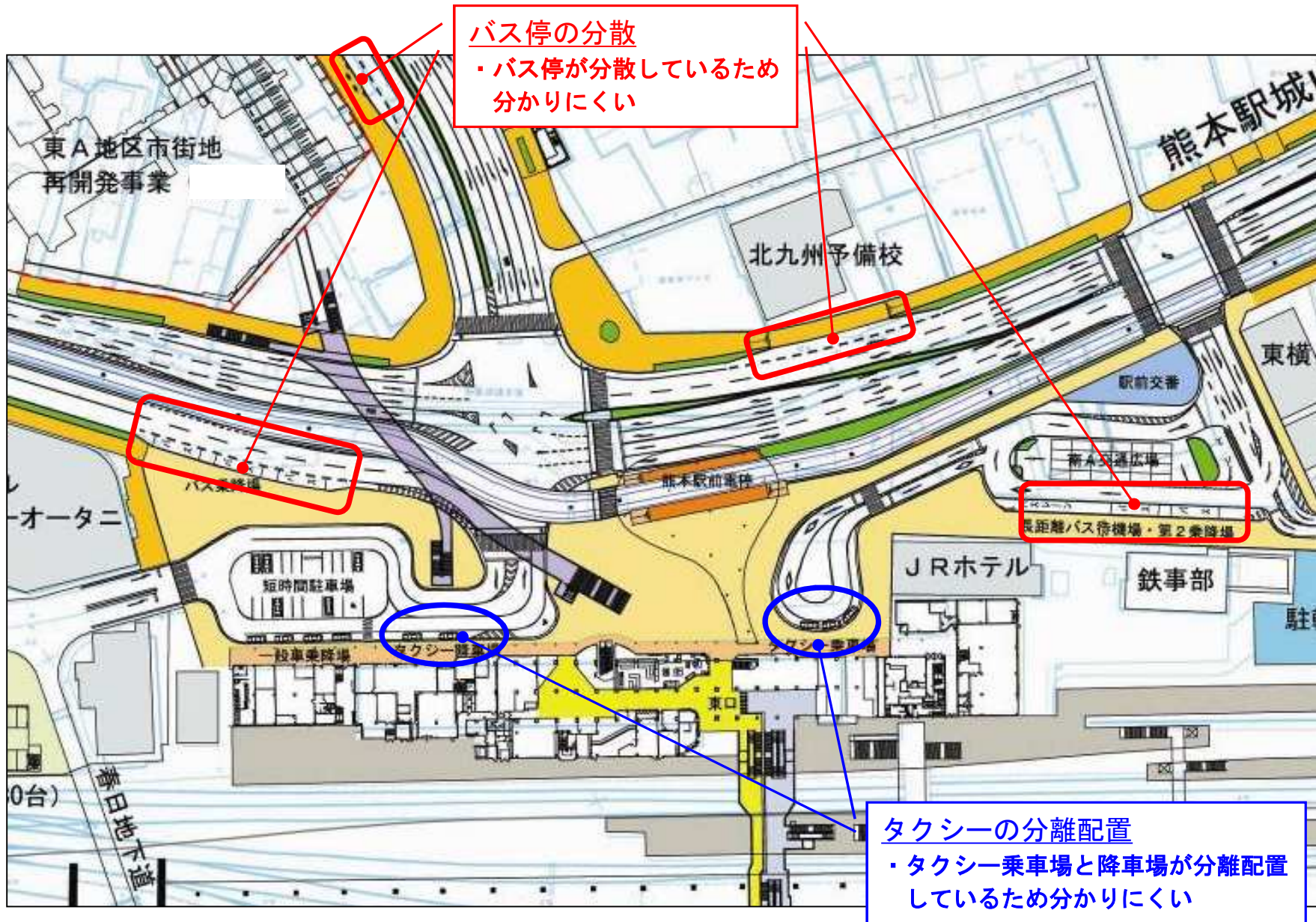
タクシー
乗車場 3バース

短時間駐車場
18台+身障者用1台

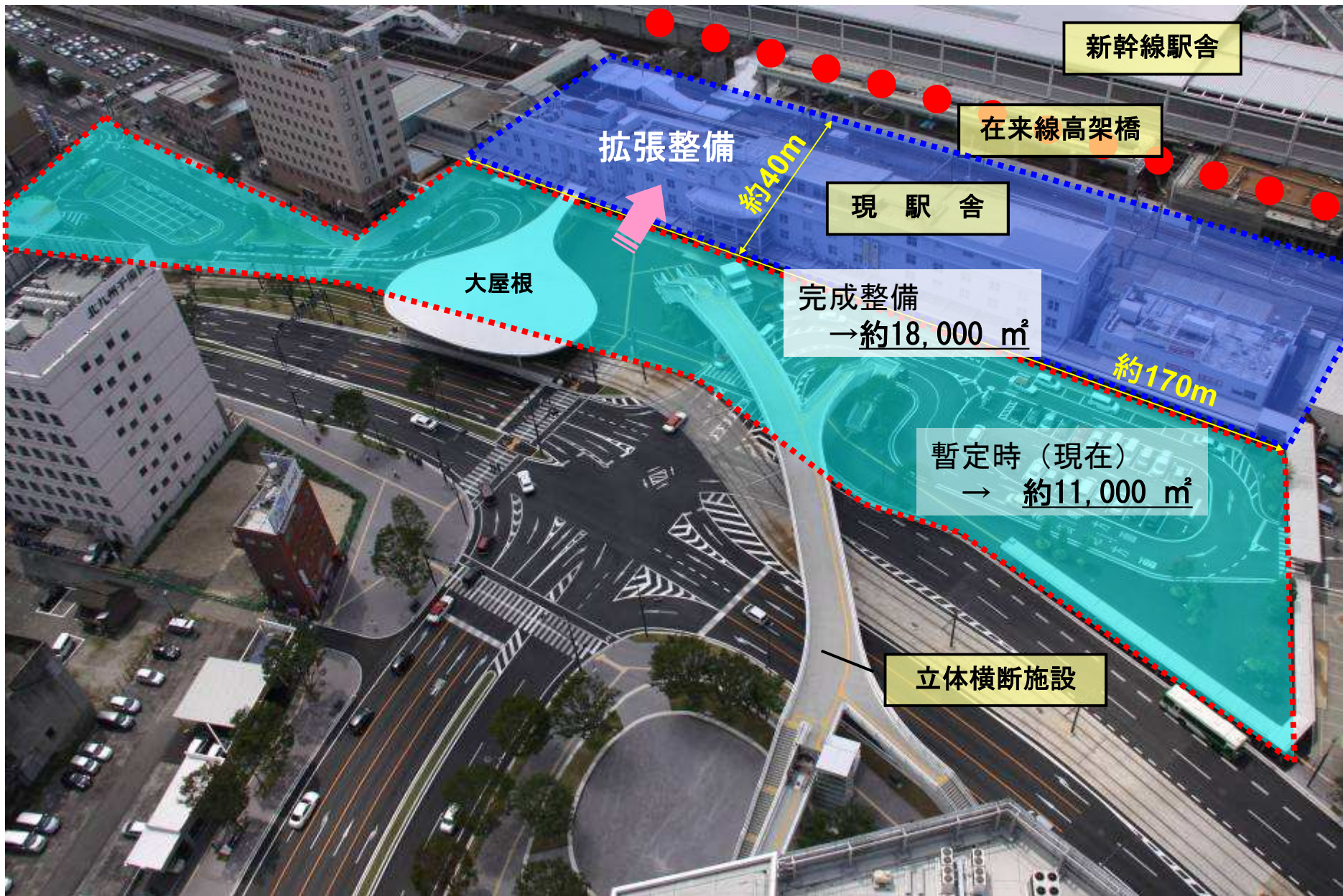
一般車
乗降場 4バース

身障者用
乗降場 1バース

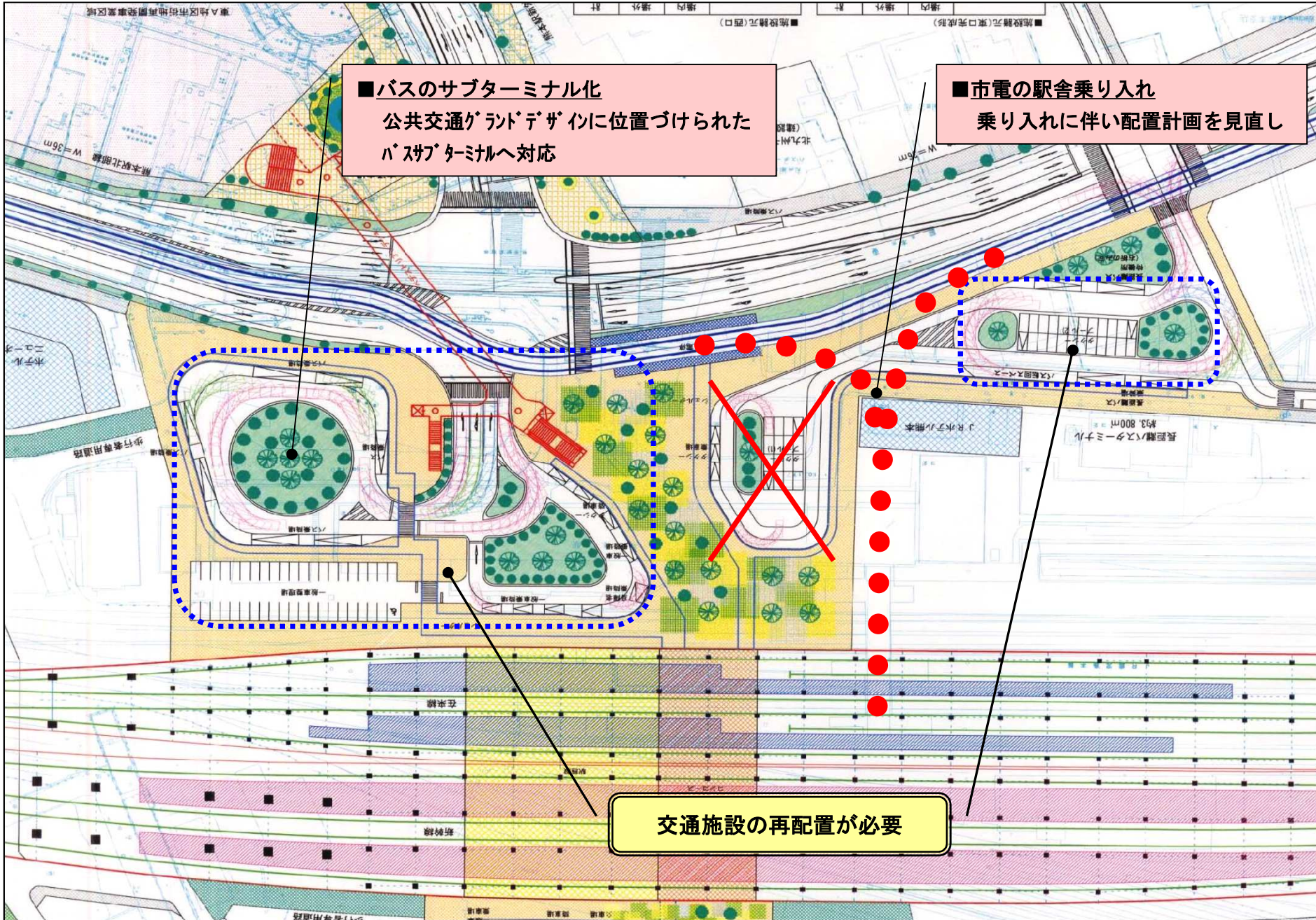
2. 現況の課題



3. 完成形駅前広場（現在の都市計画決定区域）

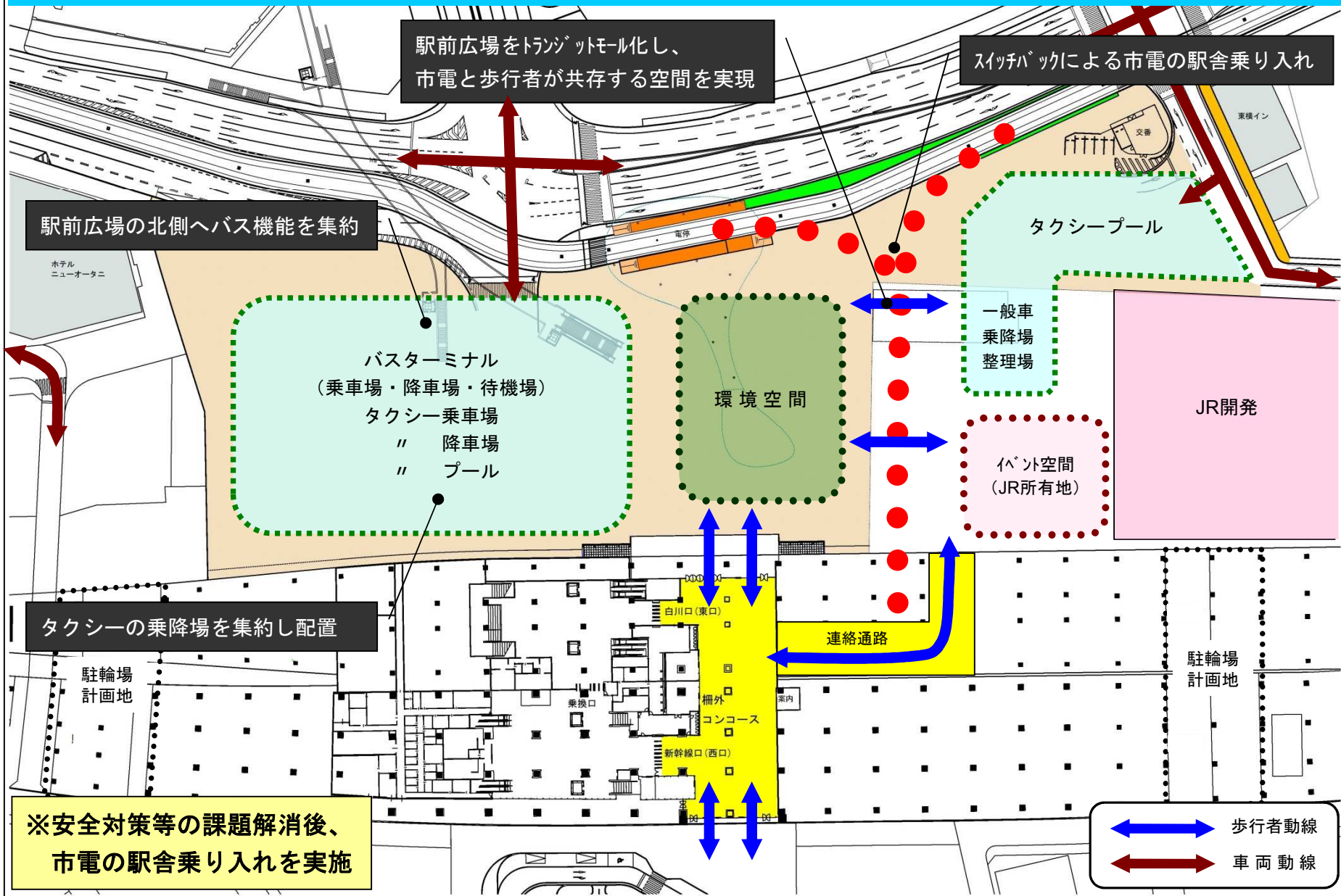


4. 完成形整備に向けた検討条件 (下図: H17 基本計画案)



5. 熊本駅東口（完成形）駅前広場計画（案）（平成25年9月市議会提示案）

熊本駅東口駅前広場（完成形）ゾーニング案 ～乗り換え利便性の向上～



6. 駅前広場への市電乗り入れの課題

■ 求められる機能

安全性

利便性

快適性

- 市電乗り入れにより交通結節機能が強化され乗り換え利便性は向上するが、安全性の確保が必要
- 市電と歩行者等、双方の快適性が必要

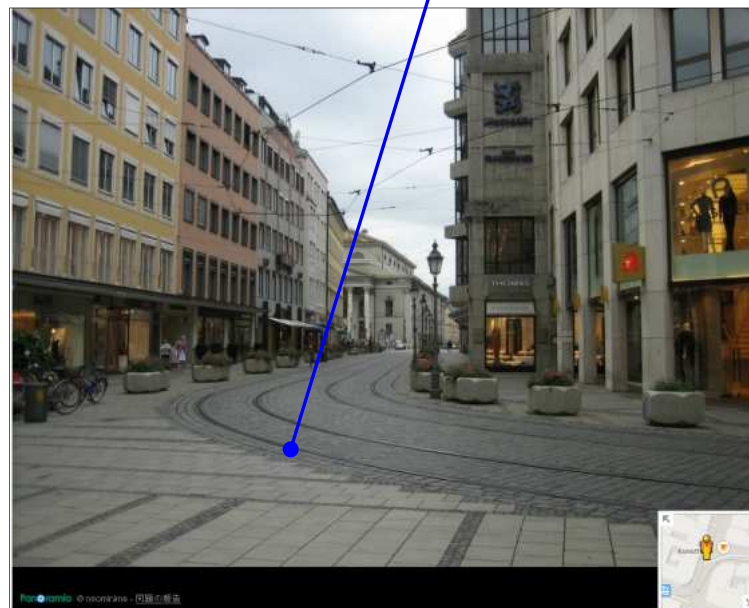
景観性

- 新駅舎や周辺施設と調和のとれた駅前広場における景観への配慮が必要

■ 他都市の安全対策

- ・ 音や光を用いて市電の接近を知らせることにより、衝突を事前に回避（例：大塚駅）
- ・ 舗装やポール等で軌道敷を明確にすることにより、市電の通行箇所を知らせる（例：ミュンヘン）
- ・ 軌道敷のフラット化や音声案内、電光表示板等を用いて、ユニバーサルデザインに配慮する

軌道敷と道路を
舗装で区別し、
電車通行箇所を周知



例：ミュンヘン（ドイツ）

7. 今後のスケジュール

